

薬局通信

第 116 号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	採用中止品目
①トラネキサム酸注 1000mg/10mL「日新」 ②アイリーア硝子体内注射液 40 mg/mL ③エヌジェンラ皮下注ペン 24 mg、60 mg	①スキャンドネストカートリッジ 3% ②アルファロール散 1μg/g	①エボジン注シリンジ 6000 ②チザニジン顆粒 0.2% 「日医工」
新規院外専用医薬品		新規患者限定医薬品
①塩化ナトリウム注 1 モルシリンジ「テルモ」 ②ルネスタ錠 2mg ③エイベリス点眼液 0.002% ④セララ錠 50 mg		①ボナロン経口ゼリー 35 mg ②ステルイズ水性懸濁筋注 240 万単位シリンジ ③コララン錠 2.5 mg ④アレセンサカプセル 150 mg 【通常採用→患者限定薬に変更】 ①メンドンカプセル 7.5 mg ②フェノール・亜鉛華リニメント（カチリ）

変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	ロゼレム錠 8 mg	後発品（AG 製剤）へ切替	ラメルテオン錠 8mg「武田テバ」
2	ロトリガ粒状カプセル 2g	後発品（AG 製剤）へ切替	オメガ - 3 脂肪酸エチル粒状カプセル 2g 「武田テバ」
3	フェブリク錠 10 mg	後発品（AG 製剤）へ切替	フェブキソスタット錠 10 mg「DSEP」
4	カルバマゼピン細粒 50%「アメル」	購入困難のため	テグレート細粒 50%
5	セフジニル細粒小児用 10%「JG」	購入困難のため	セフジニル細粒小児用 10%「サワイ」
6	アジスロマイシン細粒小児用 10% 「YD」	製造中止のため	アジスロマイシン細粒小児用 10%「トー ワ」
7	グラニセトロン静注液シリンジ 「NK」 1 mg、3 mg	製造中止のため	グラニセトロン静注液シリンジ 「サイ」 1 mg、3 mg
8	ブコラム口腔用液 7.5 mg、10 mg	期限切れ 使用患者僅少のため	院外専用薬へ採用区分変更
9	ムーベン配合内容液	販売中止のため	ニフレック配合内容剤
10	トリセノックス注 10 mg （アンプル製剤）	アンプル製剤販売中止 に伴う切替	トリセノックス点滴静注 12 mg （バイアル製剤）
11	ガスモチン散 1%	供給再開のため	モサブリドクエン酸塩散 1%「日医工」

採用薬品の処方開始は、原則として**2023 年 1 月 5 日(木)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

新規試用医薬品

① トラネキサム酸注 1000mg / 10mL「日新」 処方箋医薬品

(日新製薬) 抗プラスミン剤

一般名：トラネキサム酸

採用理由

産科の危機的出血時にトラネキサム酸 1000 mgのすみやかな投与が推奨されているが、現在の採用品の 250 mg 規格 4 本から採取するのは煩雑であるため、1000 mg規格の採用をお願いしたい。

※分娩時の危機的出血対応時にのみ使用予定です。

効能効果

全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向

(白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血)

局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血

(肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血)

下記疾患における紅斑・腫脹・痒などの症状

湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹

下記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹などの症状

扁桃炎、咽喉頭炎

口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター

用法用量又は使用方法

トラネキサム酸として通常成人 1 日 250～500 mgを 1～2 回に分けて静脈内又は筋肉内注射する。術中・術後等には必要に応じ 1 回 500～1000 mgを静脈内注射するか、又は 500～2500 mgを点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：69 円/瓶

② アイリーア硝子体内注射液 40 mg/mL 処方箋医薬品／劇薬／生物由来製品

(バイエル) 眼科用 VEGF 阻害剤

一般名：アフリベルセプト (遺伝子組換え)

採用理由

2022 年 9 月に未熟児網膜症の適応取得。成人の適応範囲ではルセンティスよりも有効性が高いことから、未熟児網膜症でもより高い有効性が期待できるため申請した。

効能効果

中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫

病的近視における脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑浮腫

血管新生緑内障、未熟児網膜症

用法用量

〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉

アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 2mg（0.05mL）を 1 ヶ月ごとに 1 回、連続 3 回（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、通常、2 ヶ月ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、1 ヶ月以上あけること。

〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管〉

アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 1 回あたり 2mg（0.05mL）を硝子体内投与する。

投与間隔は、1 ヶ月以上あけること。

〈糖尿病黄斑浮腫〉

アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 2mg（0.05mL）を 1 ヶ月ごとに 1 回、連続 5 回硝子体内投与する。その後は、通常、2 ヶ月ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、1 ヶ月以上あけること。

〈血管新生緑内障〉

アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 1 回、2mg（0.05mL）を硝子体内投与する。なお、必要な場合は再投与できるが、1 ヶ月以上の間隔をあけること。

〈未熟児網膜症〉

アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 1 回、0.4mg（0.01mL）を硝子体内投与する。なお、必要な場合は再投与できるが、1 ヶ月以上の間隔をあけること。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：138,986 円/瓶

③ エヌジェンラ皮下注ペン 24 mg、60 mg 処方箋医薬品／生物由来製品

（ファイザー） 長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤

一般名：ソムアトロゴン（遺伝子組換え）

採用理由

ヒト成長ホルモン製剤の週 1 回投与製剤である。現在処方制限期間であるが新規導入が続いており、来春の制限解除に伴いさらに症例数が増えると予測されるため申請した。

効能効果

骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症

用法用量

通常、ソムアトロゴン（遺伝子組換え）として 0.66mg/kg を 1 週間に 1 回皮下投与する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：24 mg… 43,032 円/キット

60 mg…107,580 円/キット